

千葉工業大学学則

第1章 目的

(目的)

第1条 本学は、教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、科学技術の理論と応用を教授研究するとともに、豊かな教養を備え人類福祉のため進んで協力する意欲と識見をもつ人材を養成することを目的とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学は、その教育・研究の向上を図り、前条の目的を達成するため、教育・研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第2章 組織

(学部)

第2条 本学に工学部、創造工学部、先進工学部、情報変革科学部及び未来変革科学部を置く。

2 前項の学部に置く学科並びにその入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学 科	入学定員	収容定員
工 学 部	機械工学科	1 4 0 名	5 6 0 名
	機械電子創成工学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	先端材料工学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	電気電子工学科	1 4 0 名	5 6 0 名
	情報通信システム工学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	応用化学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	小 計	7 2 0 名	2, 8 8 0 名
創 造 工 学 部	建築学科	1 4 0 名	5 6 0 名
	都市環境工学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	デザイン科学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	小計	3 7 0 名	1, 4 8 0 名
先 進 工 学 部	未来ロボティクス学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	生命科学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	知能メディア工学科	1 1 0 名	4 4 0 名
	小計	3 4 0 名	1, 3 6 0

情報変革科学部	情報工学科	120名	480名
	認知情報科学科	120名	480名
	高度応用情報科学科	120名	480名
	小 計	360名	1,440名
未来変革科学部	デジタル変革科学科	100名	400名
	経営デザイン科学科	100名	400名
	小 計	200名	800名
合 計		1,990名	7,960名

(学部教育・研究上の目的)

第2条の2 工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、専門知識を応用する工学分野において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

2 創造工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、創造性を要する工学分野およびその学際的領域において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

3 先進工学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、科学技術における先進的な分野において世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

4 情報変革科学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、情報社会の変革に対応して世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

5 未来変革科学部は、自ら学習を継続する能力・論理的思考力・課題解決力・コミュニケーション力・豊かな人間力・国際感覚と教養を備え、専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、経営活動の変革に対応して世界文化に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

(大学院)

第3条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は別に定める。

(附属図書館)

第4条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する事項は別に定める。

(研究所)

第4条の2 本学に次の研究機関を置く。

- (1) 附属研究所
- (2) 未来ロボット技術研究センター
- (3) 惑星探査研究センター
- (4) 人工知能・ソフトウェア技術研究センター
- (5) 次世代海洋資源研究センター
- (6) 地球学研究センター
- (7) 数理工学研究センター
- (8) 変革センター

2 研究機関に関する事項は別に定める。

(施設)

第4条の3 本学に次の施設を置く。

- (1) 学生寮
- (2) 軽井沢研修センター
- (3) 御宿研修センター

2 前項の各号に関する必要な事項は別に定める。

(事務局)

第5条 本学に事務局を置く。

2 事務局に関する必要な事項は別に定める。

第3章 職員組織

(学長)

第6条 本学に学長を置く。

- 2 学長は、校務をつかさどり、所属教育職員を統督する。
- 3 必要があるときは副学長を置くことができる。
- 4 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(学部長)

第6条の2 学部 to 学部長を置く。

- 2 学部長は、学部に関する学務をつかさどる。
- 3 学部長に関する事項は別に定める。

(職員)

第7条 本学に教育職員及び一般職員を置く。

2 教育職員として、教授、准教授、助教及び助手を置く。

- (1) 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (2) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

- (3) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (4) 助手は、その所属する組織における教育・研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 3 一般職員として、事務職員、技術職員、労務職員及びその他必要な職員を置く。
- 4 職員に関する規則は別に定める。

第4章 学部長会及び教授会

(学部長会)

第8条 本学に、大学の教育・運営に関する重要事項を協議及び審議するため学部長会を置く。

2 学部長会は、学長が招集し、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

- (1) 教育・研究に関する基本方針等、その運営における全学的な事項
- (2) 教授会の審議に関する基本的共通的な事項
- (3) その他、本学の教育・研究の運営に必要と認められる事項

3 学部長会に関する規則は、別に定める。

(教授会)

第8条の2 学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部の専任教授をもって組織する。

3 教授会は、学部長が招集し議長となる。

4 学部長は、必要あると認めた場合に、教授会の承認を得て教授会に専任の准教授、助教及びその他の職員を参加させることができる。

5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前二号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育・研究に関する事項について審議し、及び学長又は学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

7 教授会の運営に関する規則は別に定める。

第8条の3 学部に共通する事項について意見を聴くため、学長は、必要により合同教授会を招集することができる。

2 合同教授会は、次に掲げる事項について学長に意見を述べるものとする。

- (1) 学則の改正に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育・研究に関する重要な事項で、合同教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 合同教授会に関する規則は、別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を次の2学期に分ける。

(1) 前期 4月1日から9月17日まで

(2) 後期 9月18日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合は、学長は学部長会の意見を聴いて前項の期間を変更することができる。

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に定める休日

(3) 開学記念日 5月15日

2 必要がある場合は、学長は学部長会の意見を聴いて前項の休業日を変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は学部長会の意見を聴いて春期休業日、夏期休業日、冬期休業日及び臨時の休業日を定めることができる。

4 学長は、特別の必要がある場合は、学部長会の意見を聴いて休業日を授業を行う日に変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第12条 修業年限は、4年とする。

2 前項の規定にかかわらず、大学入学資格を有した後、大学の学生以外の者として、本学の一定の単位を修得し、本学に入学する場合において、本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、当該単位数その他の事項を勘案し、2年を超えない範囲で修業年限に通算することができる。

(在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。

2 第20条、第21条及び第22条の規定により入学した学生は、在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

3 第1項及び第2項の規定にかかわらず、同一学年に3年を超えて在学することができない。

第7章 入学

(入学時期)

第14条 入学の時期は、学期の始めとする。

(入学資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により他大学に入学した者であつて、当該者をその後に入学させる本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
（入学者選考）

第16条 本学に入学を志願する者は、入学願書と別に定める入学検定料及び所定の書類を添えて、期日までに提出するものとする。

- 2 前項の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。
（入学手続及び入学許可）

第17条 前条の選考の結果に基づき合格した者は、所定の期日までに、別に定める学生納付金を納入し、保証人の連署する誓約書その他所定の書類を提出するものとする。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
（保証人）

第18条 学生は、在学中、保証人を置くものとする。

- 2 保証人は、父母又は独立の生計を営む成年者で、学生の在学中の身上に関し責任を負いうる者とする。
（変更届）

第19条 学生は、氏名、現住所の変更及び保証人の変更若しくはその現住所に変更があったときは、速やかに届け出るものとする。

（転部、転科）

第19条の2 本学に在籍する学生で、転学部、転学科を願い出た者については、欠員のある場合限り、学長はこれを許可することができる。

- 2 転学部、転学科に関する規則は別に定める。
（編入学、転入学）

第20条 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 他の大学の2年次を修了した者
- (2) 短期大学を卒業した者又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則附則第7条に規定する者

2 他の大学の学生で、本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

3 前2項の規定により編入学又は転入学した者の在学年数には、本条による入学以前の学校在学年数の全部又は一部を算入する。

4 編入学及び転入学に関する規則は別に定める。

(学士入学)

第21条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は教授会の意見を聴いて相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 本学を卒業した者
- (2) 他の大学を卒業した者

2 学士入学に関する規則は別に定める。

(再入学)

第22条 本学を退学した者又は除籍された者で、再入学を志願する者があるときは、学長は事情を考慮した上、相当年次に入学を許可することができる。ただし、懲戒による退学者及び第41条第1項第2号及び第4号並びに第5号の規定により除籍された者の再入学は許可しない。

2 再入学に関する規則は別に定める。

第8章 教育課程及び履修方法等

(教育課程編成方針)

第23条 教育課程は、学則第2条の2に規定する学部の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとする。

(授業科目区分)

第23条の2 授業科目を分けて、教養科目及び専門科目及び教職課程に関する科目とする。

(教育課程編成方法)

第24条 教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

2 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(授業科目及び履修方法)

第25条 授業科目及びその単位数は、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6及び別表第7のとおりとする。

2 授業科目の履修方法は別に定める。

(成績評価基準等の明示等)

第25条の2 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価並びに卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(単位計算方法)

第26条 授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準による。

(1) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実技、実験、実習及び製図は、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を考慮して単位数を定めるものとする。

(授業期間)

第27条 一年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

2 各授業科目の授業は、13週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りではない。

(単位授与)

第28条 授業科目を履修し、その試験等により合格と判定された者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第29条 授業科目の成績は、A、B、C、Dの4段階により表示し、A、B、Cを合格としDは不合格とする。

(他大学等における授業科目履修等)

第30条 教育上有益と認めるときは、他大学等との協議に基づき、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修し修得した授業科目の単位を、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(入学前の既修得単位取扱)

第31条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において修得した単位を、本学において修得したものとして認定することができる。

2 前項の単位の認定は、編入学の場合を除き、前条により認める単位数と合せて60単位を超えない範囲で行うことができる。ただし、修業年限の短縮は行うことができない。

(進級)

第32条 上級年次に進級するための条件を定めることができる。

(卒業必要単位数)

第33条 卒業に必要な単位数は、別に定める所定の単位を含め、124単位以上とする。

(教育職員免許状)

第34条 本学において、取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

工学部

機械工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
機械電子創成工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
先端材料工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
電気電子工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
応用化学科	理科	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状

創造工学部

都市環境工学科	工業	高等学校教諭一種免許状
---------	----	-------------

情報変革科学部

情報工学科	数学	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状
認知情報科学科	数学	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状
高度応用情報科学科	数学	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状
	情報	高等学校教諭一種免許状

未来変革科学部

経営デザイン科学科	情報	高等学校教諭一種免許状
-----------	----	-------------

- 2 前項の教育職員免許状を取得するために履修する授業科目の種類及びその単位数は別に定める。
- 3 第1項に規定する教育職員免許状を取得するための受講手続料は別に定める。

第9章 休学、復学、外国留学、退学、転学及び除籍

(休学)

第35条 疾病その他やむを得ない理由により、年度内に6か月以上修学することができない者は、所定の休学願を学長に提出するものとする。

- 2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第36条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は在学期間には算入しない。

(復学)

第37条 休学した者は、休学期間が満了し、又は休学の理由が解消したときは、遅滞なく所定の復学

願を学長に提出するものとする。

(外国留学)

第38条 本学の学生が外国の大学等の授業科目を履修するため、留学を志願し学長に願い出た場合、学長は、教育上有益と認めるときはこれを許可することができる。

2 留学した期間は、第13条に定める在学期間を含める。

3 留学して履修した授業科目について修得した単位については、第30条第2項に準じて卒業の要件となる単位として含めることができる。

4 留学に関する規則は別に定める。

(退学)

第39条 退学しようとする者は、所定の退学願を学長に提出するものとする。

(転学)

第39条の2 他の大学に転学しようとする者は、所定の転学願を学長に提出するものとする。

(休学、復学、退学及び転学許可)

第40条 休学、復学、退学及び転学については、学長がこれを許可することができる。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 所定の学生納付金を滞納し、督促を受けても納入しない者
- (2) 在学期間の限度を超過した者
- (3) 休学期間の限度を超過した者
- (4) 長期間行方不明の者
- (5) 休学による場合を除き、同一学年に3年在学して、なお進級できない者

第10章 卒業及び学位

(卒業)

第42条 本学に4年（第20条、第21条及び第22条により入学した者は、在学すべき年数）以上在学し、第33条に定める単位数を取得したものは、教授会の意見を聴いて学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 前項の規定にかかわらず、本学の学生として3年以上在学し、学部の定める卒業要件を優秀な成績で修得したと認める場合、3年以上の在学で卒業を認めることができる。

(学位)

第43条 本学を卒業した者に授与する学位は次のとおりとする。

工学部	学士（工学）
創造工学部	学士（工学）
先進工学部	学士（工学）
情報変革科学部	学士（工学）
未来変革科学部	学士（工学）

第11章 賞罰

(表彰)

第44条 学業優秀な者及び課外活動等において顕著な功績のあった者は、選考の上、表彰することができる。

2 前項の選考に関する取り扱いは別に定める。

(懲戒)

第45条 本学則に違反し又は学生としての本分に反する行為のあった者は、教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

2 懲戒は、訓告、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生等

(研究生)

第46条 本学において特定の教員の指導のもとに研究することを志願する者があるときは、学部の教育・研究に支障のない場合に限り、学長は研究生として許可することができる。

2 研究生に関する規則は別に定める。

(科目等履修生)

第47条 本学の授業科目の履修又は受講のみを志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、学長は科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生に関する規則は別に定める。

(特別聴講学生)

第48条 他の大学又は短期大学との協定に基づき、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、学長は特別聴講学生として許可することができる。

2 特別聴講学生に関する規則は別に定める。

(外国人留学生等)

第49条 日本国以外の国籍を有する者で、第15条に定める入学資格がある者は、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 前項の外国人留学生に対しては、第25条に定めるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

日本語科目及び日本事情に関する科目については、別表第7のとおりとする。

3 日本国籍を有し、外国において相当の中等教育を受けた者で、第15条に定める入学資格がある者については前項を準用する。

4 外国人留学生等に関する規則は別に定める。

第13章 入学検定料及び学生納付金等

(入学検定料、学生納付金)

第50条 入学検定料は、別表第8の1のとおりとする。

2 学生納付金は、別表第8の2のとおりとする。

(学生納付金の納入)

第51条 学生納付金は、所定の期日までに納入するものとする。

2 学生納付金の納入に関する規則は、別に定める。

(研究生及び科目等履修生申込手数料等)

第52条 研究生の審査料及び科目等履修生の申込手数料等は別に定める。

(納付金不還付)

第53条 既納の入学検定料、学生納付金、審査料等は返還しない。

第14章 公開講座

(公開講座)

第54条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第15章 学則の変更

(学則変更)

第55条 本学則の変更は、理事会の議決を経るものとする。

附則

本学則は昭和43年4月1日から施行する。

附則

本学則は昭和61年4月1日から施行する。

附則

本学則は昭和62年4月1日から施行する。

附則

本学則は昭和63年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成元年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成2年4月1日から施行する。

附則

1 本学則は平成3年4月1日から施行する。

2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとお

りとする。

学 部	学 科	入学定員
工学部第一部	機 械 工 学 科	1 2 0 名
	工 業 経 営 学 科	1 2 0 名
	電 気 工 学 科	1 2 0 名
	電 子 工 学 科	1 2 0 名
	工 業 化 学 科	1 0 0 名
	土 木 工 学 科	1 1 0 名
	建 築 学 科	1 2 0 名
	精密機械工学科	1 1 0 名
	情 報 工 学 科	1 2 0 名
	工業デザイン学科	9 0 名

附則

本学則は平成3年9月10日から施行する。

附則

本学則は平成4年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成5年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成5年7月22日から施行する。

附則

本学則は平成6年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成7年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成8年4月1日から施行する。

附則

1 本学則は平成9年4月1日から施行する。

2 第2条第2項及び附則（平成3年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
工学部第一部	工 業 経 営 学 科	1 0 0 名
	情 報 工 学 科	1 0 0 名

附則

本学則は平成10年4月1日から施行する。

附則

1 本学則は平成11年4月1日から施行する。

2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成11年度の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
-----	-----	------

工学部	機械工学科	昼間主コース	120名
	工業経営学科	昼間主コース	100名
	電気工学科	昼間主コース	120名
	電子工学科	昼間主コース	120名
	工業化学科	昼間主コース	100名
	土木工学科	昼間主コース	110名
	建築学科	昼間主コース	120名
	精密機械工学科	昼間主コース	110名
	情報工学科	昼間主コース	100名
	工業デザイン学科	昼間主コース	90名

- 3 千葉工業大学工学部第二部は、平成11年4月から募集を停止し、平成11年3月31日現在当該学部在学する者が当該学部在学しなくなった時点で廃止する。

なお、第二部学生の取り扱いについては、従前のおりとする。

附則

- 1 本学則は平成12年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学 科		入 学 定 員				
		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
機械工学科	昼間主コース	118名	116名	114名	112名	110名
工業経営学科	昼間主コース	98名	96名	94名	92名	90名
電気工学科	昼間主コース	118名	116名	114名	112名	110名
電子工学科	昼間主コース	118名	116名	114名	112名	110名
工業化学科	昼間主コース	98名	96名	94名	92名	90名
土木工学科	昼間主コース	109名	108名	107名	106名	105名
建築学科	昼間主コース	118名	116名	114名	112名	110名
精密機械工学科	昼間主コース	109名	108名	107名	106名	105名
情報工学科	昼間主コース	98名	96名	94名	92名	90名
工業デザイン学科	昼間主コース	89名	88名	87名	86名	85名

附則

- 1 本学則は平成13年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学 部・学 科		入 学 定 員			
		13年度	14年度	15年度	16年度
工学部					
機械工学科	昼間主コース	116名	114名	112名	110名
電気工学科	昼間主コース	116名	114名	112名	110名
電子工学科	昼間主コース	116名	114名	112名	110名
工業化学科	昼間主コース	94名	90名	86名	80名
土木工学科	昼間主コース	105名	103名	101名	100名
建築学科	昼間主コース	116名	114名	112名	110名
精密機械工学科	昼間主コース	105名	103名	101名	100名
工業デザイン学科	昼間主コース	88名	87名	86名	85名

- 3 千葉工業大学工学部工業経営学科、情報工学科、情報ネットワーク学科及びプロジェクトマネ

ジメント学科は、平成13年4月から募集を停止し、平成13年3月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該4学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のおりとする。

附則

本学則は平成14年4月1日から施行する。

附則

- 1 本学則は平成15年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部機械工学科、金属工学科、電気工学科、電子工学科、工業化学科、土木工学科、建築学科、精密機械工学科及び工業デザイン学科は、平成15年4月から募集を停止し、平成15年3月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該9学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のおりとする。

附則

本学則は平成16年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成17年4月1日から施行する。

附則

- 1 本学則は平成18年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部第二部は当該学部中に在学する者がなくなったため、平成18年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成19年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部情報ネットワーク学科及びプロジェクトマネジメント学科は、当該学科中に在籍する者がなくなったため、平成19年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成20年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部情報工学科及び工業経営学科は、当該学科中に在学する者がなくなったため、平成20年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成21年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部金属工学科、工業化学科、土木工学科、建築学科及び工業デザイン学科は、当該学科中に在学する者がなくなったため、平成21年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成22年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部電子工学科及び精密機械工学科は、当該学科中に在学する者がなくなった

ため、平成22年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成23年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部機械工学科及び電気工学科は、当該学科に在学する者がなくなったため、平成23年3月31日をもって廃止する。

附則

- 1 本学則は平成24年4月1日から施行する。
- 2 学校法人千葉工業大学定年後再雇用教員に関する規程第4条第1項に規定する継続教員は、第8条の2第5項第5号を審議する教授会及び第8条の3第2項第1号を審議する合同教授会の構成員とはならない。

附則

本学則は平成25年4月1日から施行する。

附則

本学則は、平成26年4月1日から施行する。

附則

本学則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

- 1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部機械サイエンス学科、電気電子情報工学科、生命環境科学科、建築都市環境学科、デザイン科学科及び未来ロボティクス学科は、平成28年4月から募集を停止し、平成28年3月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該6学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

附則

本学則は、平成28年7月21日から施行する。

附則

本学則は、平成29年4月1日から施行する。

附則

本学則は、平成29年7月20日から施行する。

附則

本学則は、平成30年4月1日から施行する。

附則

本学則は、平成31年4月1日から施行する。

附則

本学則は、令和2年4月1日から施行する。

附則

本学則は、令和2年6月10日から施行する。

附則

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部デザイン科学科は、当該学科に在学する者がなくなったため、令和3年3月31日をもって廃止する。

附則

本学則は、令和3年5月1日から施行する。

附則

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学工学部機械サイエンス学科、生命環境科学科、建築都市環境学科及び未来ロボティクス学科は、当該学科に在籍する者がなくなったため、令和4年3月31日をもって廃止する。

附則

本学則は、令和5年5月1日から施行する。

附則

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 千葉工業大学情報科学部情報工学科、情報ネットワーク学科及び社会システム科学部経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科、金融・リスク経営科学科は、令和6年4月から募集を停止し、令和6年3月31日現在当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在籍しなくなった時点で廃止する。

なお、募集を停止する当該2学部5学科に在学する学生の取り扱いについては、従前のとおりとする。

別表第1(第25条関係)

工学部 教養科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
英語理解基礎1		1
英語表現基礎1		1
英語理解基礎2		1
英語表現基礎2		1
英語理解基礎3		1
英語表現基礎3		1
英語理解基礎4		1
英語表現基礎4		1
英語理解1		1
英語表現1		1
英語理解2		1
英語表現2		1
英語理解3		1
英語表現3		1
英語理解4		1
英語表現4		1
英語理解発展1		1
英語表現発展1		1
英語理解発展2		1
英語表現発展2		1
英語理解発展3		1
英語表現発展3		1
英語理解発展4		1
英語表現発展4		1
資格試験英語A		1
資格試験英語B		1
日本語表現法	1	
数理・データサイエンス・AI入門	1	
AI・プログラミング基礎演習		1
スポーツ科学	2	
初年次教育	1	
キャリアデザイン1	1	
キャリアデザイン2	1	
キャリアデザイン3	1	
異文化理解	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
言語と文化1	2	
言語と文化2	2	
グローバル時代の法		2
国際社会論		2
哲学		2
倫理学		2
文学と芸術		2
歴史と人間		2
心理学		2
身体と健康の科学		2
憲法と社会		2
政治と社会		2
経済学		2
現代社会論		2
科学技術史		2
環境科学概論		2
生命科学		2
地球科学		2
物理の世界と先端技術		2
物質科学		2
課題探究セミナー		2
総合学際科目		2
イングリッシュアクティブラーニング1		1
イングリッシュアクティブラーニング2		1
イングリッシュアクティブラーニング3		1
日本語アクティブラーニング		1
スポーツアクティブラーニング		2
ソーシャルアクティブラーニング		1
国際インターン		1
国内インターン		1
ボランティア		1
キャリアアップラーニング		1
総合科学特論		2

機械工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
物理学基礎	2	
化学基礎	2	
線形代数	2	
微分積分学	2	
物理学応用		2
化学実験	2	
物理学実験	2	
確率統計		2
ものづくり基礎演習	2	
ものづくり演習	2	
機械工学概論	2	
工業力学	2	
機械材料		2
機構学		2
工業数学		2
基礎材料力学	2	
基礎機械設計	2	
基礎機械製図	2	
基礎機械力学	2	
生産加工学	2	
材料力学	2	
応用材料力学		2
構造力学		2
材料強度学		2
機械力学		2
振動工学		2
制御工学		2
自動制御		2
熱力学	2	
応用熱力学		2
エネルギー工学		2
伝熱工学		2
流れ学	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
応用流れ学		2
流体力学		2
機械設計	2	
機械製図	2	
CAD演習	2	
応用機械設計製図	2	
計測工学		2
技術英語		2
機械の技術史		2
工作機械		2
数値解析		2
環境工学		2
技術者倫理	2	
先端機械工学	2	
機械工学実験1	2	
機械工学実験2	2	
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	
工学概論(自由科目)※		2
職業指導1(自由科目)※		2
工業科教育法1(自由科目)※		2
工業科教育法2(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

機械電子創成工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
微分積分	2	
微分方程式		2
応用数学		2
線形代数基礎	2	
線形代数応用		2
基礎統計学		2
物理学基礎	2	
物理学実験		2
化学基礎		2
デジタルものづくり		2
機構学		2
力学		2
材料力学		2
電気磁気学		2
電気回路		2
電子デバイス		2
機械電子創成概論	2	
機械電子創成基礎実験・実習	2	
機械設計製図学		2
機械力学		2
機械加工法		2
材料とその性質		2
シミュレーション工学		2
トライボロジー		2
熱・流体工学		2
精密加工		2
アナログ回路		2
デジタル回路		2
半導体電力変換工学		2
電気機器学		2
プログラミング言語		2
組込みシステム		2
ネットワークプログラミング		2
システム制御理論		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
センサ工学		2
システム制御工学		2
計測工学		2
技術者倫理		2
機械電子創成基盤実験・実習	2	
機械電子創成応用設計・製図実習	2	
機械電子創成アドバンスラーニングⅠ	2	
機械電子創成アドバンスラーニングⅡ	2	
機械電子創成アドバンスラーニングⅢ		2
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	
工学概論(自由科目)※		2
職業指導1(自由科目)※		2
工業科教育法1(自由科目)※		2
工業科教育法2(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

先端材料工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数	2	
確率統計		2
微分方程式		2
工業数学		2
物理学基礎	2	
物理学応用		2
化学基礎	2	
物理化学	2	
物理学実験	2	
化学実験	2	
先端材料工学概論	2	
エネルギー工学概論	2	
リサイクル概論	2	
基礎材料工学	2	
工業英語	2	
工学基礎	2	
基礎製図		2
材料物理学	2	
材料熱化学	2	
固体物理学	2	
材料組織学	2	
材料電気化学	2	
材料力学及び演習	2	
創造工学及び演習	2	
薄膜材料		2
構造材料1		2
構造材料2		2
半導体材料		2
磁性材料		2
電池材料		2
光機能材料		2
セラミックス・ポリマー材料		2
エネルギー材料		2
材料化学プロセス工学1		2
材料化学プロセス工学2		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
化学反応工学		2
リサイクル工学		2
材料強度学1		2
材料強度学2		2
材料加工法及び演習		2
材料評価法及び演習		2
材料シミュレーション		2
塑性加工学		2
融体成形工学		2
接合工学		2
表面工学		2
粉体材料工学		2
技術者倫理	2	
先端材料工学実験1	2	
先端材料工学実験2	2	
先端材料ゼミナール	1	
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	
工学概論(自由科目)※		2
職業指導1(自由科目)※		2
工業科教育法1(自由科目)※		2
工業科教育法2(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

電気電子工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数基礎	2	
物理学基礎	2	
複素数とベクトル	2	
線形代数応用	2	
微分積分	2	
化学基礎	2	
微分方程式	2	
物理学応用	2	
確率統計		2
量子力学基礎		2
物理学実験	2	
化学実験		2
電気電子工学入門	2	
電気電子基礎数学及び演習	2	
電気磁気学及び演習1	2	
電気磁気学及び演習2	2	
電気回路及び演習1	2	
計測工学	2	
電子物性	2	
プログラミング言語及び演習	2	
電気回路及び演習2	2	
電子回路及び演習1	2	
電子デバイス及び演習1	2	
電気回路解析学	2	
文献輪読	2	
電気電子工学実験1	2	
電気電子工学実験2	2	
電気電子工学実験3	2	
デジタル回路		2
信号処理論		2
電子回路2		2
電子デバイス2		2
電磁エネルギー変換工学		2
制御工学1		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
変電工学		2
送配電工学		2
プラズマエレクトロニクス		2
コンピュータ工学		2
電気音響工学		2
計測システム工学		2
パワーエレクトロニクス		2
制御工学2		2
発電工学		2
高電圧工学		2
電気電子材料		2
光エレクトロニクス		2
数値計算工学		2
電子回路3		2
技術者倫理	2	
ゼミナール1	2	
電気機器設計・製図		2
電気法規		2
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	
工学概論(自由科目)※		2
職業指導1(自由科目)※		2
工業科教育法1(自由科目)※		2
工業科教育法2(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

情報通信システム工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数基礎	2	
物理学基礎	2	
物理学実験	2	
微分積分	2	
物理学応用	2	
情報通信基礎数学及び演習	3	
線形代数応用		2
確率統計		2
微分方程式	2	
フレッシュマンセミナー	2	
情報通信応用数学及び演習	3	
電気回路及び演習1	3	
情報基礎論	2	
電気磁気学及び演習1	3	
電気回路及び演習2	3	
プログラミング言語及び演習	3	
計測工学		2
電気磁気学及び演習2	3	
情報通信工学基礎実験	2	
電子回路及び演習1	3	
電子デバイス		2
電子回路及び演習2	3	
文献輪読	2	
プログラミング応用演習	1	
情報理論		2
アルゴリズムとデータ構造		2
デジタル回路		2
情報通信工学実験1	2	
数値計算工学		2
通信理論		2
無線通信工学		2
電気回路解析学		2
ソフトウェア工学		2
コンピュータ工学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
情報通信工学実験2	2	
ゼミナール1	2	
通信システム工学		2
光通信工学		2
データサイエンス		2
電波工学		2
コンピュータネットワーク		2
データベース工学		2
技術者倫理	2	
ゼミナール2	2	
システム数理工学		2
電波法		2
卒業研究	5	

応用化学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
化学基礎		2
物理学基礎		2
数学基礎		2
線形代数基礎		2
化学実験	2	
化学応用		2
微分積分		2
線形代数応用		2
物理学実験	2	
生物学基礎		2
物理学応用		2
統計力学基礎		2
確率統計		2
有機化学1		2
応用化学概論	2	
有機化学2		2
物理化学1		2
有機化学3		2
無機化学1		2
物理化学2		2
分析化学		2
応用化学研究法		2
無機化学2		2
物理化学3		2
量子化学1		2
機器分析学1		2
技術者倫理		2
環境マネジメント		2
生化学		2
化学反応工学		2
量子化学2		2
地球環境科学		2
機器分析学2		2
特許及び情報検索法		2
高分子化学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
高分子材料		2
無機合成化学		2
結晶科学		2
界面化学		2
電気化学		2
有機合成化学		2
バイオマテリアル		2
機能性無機材料		2
錯体化学		2
エネルギー・環境化学工学		2
分子設計		2
触媒化学		2
エコマテリアル		2
サステナブル資源科学		2
応用化学実験1	2	
応用化学実験2	2	
応用化学実験3	2	
ゼミナール	2	
卒業研究	5	
電磁気学(自由科目)※		2
宇宙科学(自由科目)※		2
生物学実験(自由科目)※		1
地学実験(自由科目)※		1
理科教育法1(自由科目)※		2
理科教育法2(自由科目)※		2
理科教育法3(自由科目)※		2
理科教育法4(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

別表第2(第25条関係)

創造工学部 教養科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
英語理解基礎1		1
英語表現基礎1		1
英語理解基礎2		1
英語表現基礎2		1
英語理解基礎3		1
英語表現基礎3		1
英語理解基礎4		1
英語表現基礎4		1
英語理解1		1
英語表現1		1
英語理解2		1
英語表現2		1
英語理解3		1
英語表現3		1
英語理解4		1
英語表現4		1
英語理解発展1		1
英語表現発展1		1
英語理解発展2		1
英語表現発展2		1
英語理解発展3		1
英語表現発展3		1
英語理解発展4		1
英語表現発展4		1
資格試験英語A		1
資格試験英語B		1
日本語表現法	1	
数理・データサイエンス・AI入門	1	
AI・プログラミング基礎演習		1
スポーツ科学	2	
初年次教育	1	
キャリアデザイン1	1	
キャリアデザイン2	1	
キャリアデザイン3	1	
異文化理解	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
言語と文化1	2	
言語と文化2	2	
グローバル時代の法		2
国際社会論		2
哲学		2
倫理学		2
文学と芸術		2
歴史と人間		2
心理学		2
身体と健康の科学		2
憲法と社会		2
政治と社会		2
経済学		2
現代社会論		2
科学技術史		2
環境科学概論		2
生命科学		2
地球科学		2
物理の世界と先端技術		2
物質科学		2
課題探究セミナー		2
総合学際科目		2
イングリッシュアクティブラーニング1		1
イングリッシュアクティブラーニング2		1
イングリッシュアクティブラーニング3		1
日本語アクティブラーニング		1
スポーツアクティブラーニング		2
ソーシャルアクティブラーニング		1
国際インターン		1
国内インターン		1
ボランティア		1
キャリアアップラーニング		1
総合科学特論		2

建築学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
建築学概論	2	
創造工学基礎演習1	2	
創造工学基礎演習2	2	
建築のための英語		2
物理学基礎		2
化学基礎		2
数学基礎		2
微分積分		2
基礎統計学		2
線形代数		2
物理学実験		2
化学実験		2
日本建築史	2	
西洋建築史	2	
建築設計1	2	
建築工学基礎演習1	1	
温熱環境学	2	
空気環境学	2	
光環境学		2
建築音響学		2
静定梁・静定トラスの力学及び力学演習	2	
静定構造の力学及び力学演習	2	
サステナブル建築学	2	
建築の構造1	2	
建築の構造2	2	
建築構造材料	2	
建築計画1	2	
建築計画2	2	
現代建築論		2
建築設計2	2	
建築工学基礎演習2	1	
建築設計3	2	
建築設計4	3	
建築設計5		3

授業科目	単位数	
	必修	選択
建築設備1	2	
建築設備2		2
不静定構造の力学		2
地盤工学		2
鉄骨構造		2
鉄筋コンクリート構造		2
建築基礎構造		2
建築エンジニアリング演習		2
建築耐震構造		2
建築構造設計演習		3
建築仕上げ材料		2
建築生産	2	
建築法規	2	
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	

都市環境工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数	2	
微分積分	2	
基礎統計学	2	
物理学基礎	2	
物理学実験		2
化学基礎	2	
化学実験		2
創造工学基礎演習1	2	
創造工学基礎演習2	2	
構造力学1	2	
構造力学2	2	
建設材料工学	2	
土質力学	2	
応用力学	2	
水理学1	2	
水理学2	2	
環境アセスメント	2	
地球環境学	2	
国土・地域計画	2	
都市計画	2	
防災工学	2	
測量実習	2	
測量学	2	
技術者倫理	2	
橋梁工学		2
地盤工学		2
鉄筋コンクリート		2
コンクリート構造		2
衛生工学		2
水圏環境学		2
大気環境学		2
沿岸環境学		2
まちづくり論		2
交通計画		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
交通工学		2
都市・地域経済学		2
景観工学		2
地理情報システム		2
建設施工		2
エリア設計・演習		2
建築・都市関連法規		2
空間情報工学		2
都市環境工学実験	2	
都市環境工学演習	2	
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	
工学概論(自由科目)※		2
職業指導1(自由科目)※		2
工業科教育法1(自由科目)※		2
工業科教育法2(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

デザイン科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎		2
基礎統計学		2
物理学基礎		2
物理学実験		2
化学基礎		2
化学実験		2
情報活用及び演習	2	
創造工学基礎演習1	2	
創造工学基礎演習2	2	
デザイン概論	2	
デザイン基礎1	2	
デザイン史	2	
デザイン基礎2	2	
製品デザイン基礎		2
インテリアデザイン基礎		2
人とデザイン1		2
生活とデザイン		2
インテリア計画		2
デザインスキル演習1	1	
人とデザイン2		2
空間とデザイン		2
情報デザイン基礎		2
デザインスキル演習2	1	
デザインプレゼンテーション	1	
産業とデザイン		2
情報とデザイン		2
技術とデザイン		2
材料とデザイン		2
社会とデザイン		2
環境とデザイン		2
創造デザイン基礎	2	
工学デザイン基礎	2	
創造デザイン論及び演習	4	
工学デザイン論及び演習	4	
インテリア設計		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
ソーシャルデザイン論及び演習		4
インテリアデザイン論及び演習		4
構造力学及び演習		4
デジタルデザイン論及び演習		4
プロダクトデザイン論及び演習		4
ディスプレイデザイン論及び演習		4
インテリア施工		2
専門特別講義1		2
デザイン学外実習		1
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
卒業研究	5	

別表第3(第25条関係)

先進工学部 教養科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
英語理解基礎1		1
英語表現基礎1		1
英語理解基礎2		1
英語表現基礎2		1
英語理解基礎3		1
英語表現基礎3		1
英語理解基礎4		1
英語表現基礎4		1
英語理解1		1
英語表現1		1
英語理解2		1
英語表現2		1
英語理解3		1
英語表現3		1
英語理解4		1
英語表現4		1
英語理解発展1		1
英語表現発展1		1
英語理解発展2		1
英語表現発展2		1
英語理解発展3		1
英語表現発展3		1
英語理解発展4		1
英語表現発展4		1
資格試験英語A		1
資格試験英語B		1
日本語表現法	1	
数理・データサイエンス・AI入門	1	
AI・プログラミング基礎演習		1
スポーツ科学	2	
初年次教育	1	
キャリアデザイン1	1	
キャリアデザイン2	1	
キャリアデザイン3	1	
異文化理解	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
言語と文化1	2	
言語と文化2	2	
グローバル時代の法		2
国際社会論		2
哲学		2
倫理学		2
文学と芸術		2
歴史と人間		2
心理学		2
身体と健康の科学		2
憲法と社会		2
政治と社会		2
経済学		2
現代社会論		2
科学技術史		2
環境科学概論		2
生命科学		2
地球科学		2
物理の世界と先端技術		2
物質科学		2
課題探究セミナー		2
総合学際科目		2
イングリッシュアクティブラーニング1		1
イングリッシュアクティブラーニング2		1
イングリッシュアクティブラーニング3		1
日本語アクティブラーニング		1
スポーツアクティブラーニング		2
ソーシャルアクティブラーニング		1
国際インターン		1
国内インターン		1
ボランティア		1
キャリアアップラーニング		1
総合科学特論		2

未来ロボティクス学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
ロボット体験実習	2	
プログラミング基礎	2	
未来ロボティクス総合セミナー	2	
数学基礎		2
線形代数学		2
微分積分学		2
物理学基礎		2
ロボット設計製作論実習1	2	
ロボット設計製作論実習2	2	
ロボット設計製作論実習3	2	
ロボット設計製作論実習4	2	
ロボット設計製作論実習5	2	
機械製図		1
ロボット機構学		2
ロボット電子回路		4
ロボットプログラミング		2
メカニクス1		4
制御工学Ⅰ		2
制御工学Ⅱ		2
電気電子回路論		2
電気電子アクティブラーニング		2
信号処理論		2
ロボット制御学		2
ロボットシステム学		2
科学技術開発マネジメント		2
科学技術基礎英語		2
電磁気学		2
コミュニケーション論		2
基礎統計学		2
ロボティクスチャレンジ		1
ロボットマニピュレータ		2
センサ工学		2
数値解析学1		2
数値解析学2		2
メカニクス2		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
組込み用コンピュータ実装論		2
認識工学		2
ロボットビジョン		2
認知科学		2
ロボットインターフェイス設計論		2
ロボット構造力学		2
アクチュエータ工学		2
CAD/CAM/CAE		2
流体力学		2
ゼミナール1		1
ゼミナール2		1
ゼミナール3		1
ゼミナール4		1
卒業研究	5	

生命科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
生物学1	2	
数学基礎		2
化学基礎		2
生物学2	2	
微分積分		2
線形代数		2
機器分析学		2
量子化学		2
基礎統計学		2
生命科学基礎演習	1	
分子生物学1		2
生物物理学1		2
生化学1		2
基礎生態学		2
分子生物学2		2
微生物学		2
生化学2		2
遺伝子工学1		2
細胞生物学		2
生物物理学2		2
遺伝子工学2		2
生命科学のための倫理・法律	2	
生命科学基礎実験1	2	
生命科学基礎実験2	2	
構造生物学		2
環境構造学		2
ゲノム科学		2
ウイルス学		2
動物生理学1		2
植物生理学1		2
分子進化学		2
ゲノム生態学		2
分子免疫学		2
生体分子工学1		2
動物生理学2		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
保全生物学		2
公衆衛生学		2
微生物生態学		2
生命情報学		2
植物生理学2		2
生物多様性科学		2
生体分子工学2		2
細胞遺伝学		2
微生物工学		2
医薬品生産技術		2
生態系保全技術		2
生命科学応用実験	2	
卒業研究準備実験	2	
卒業研究	5	

知能メディア工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数	2	
確率統計	2	
物理学基礎	2	
物理学実験	2	
知能メディア基礎数学	2	
離散数学		2
統計解析		2
プログラミング言語基礎	2	
視覚造形基礎	2	
コンピュータ工学		2
デジタルデザイン基礎演習		2
ネットワーク基礎		2
ヒューマンインタフェース論		2
プログラミング言語応用		2
デジタルファブリケーション		2
メディアデザイン論		2
メディア史		2
人間中心設計	2	
技術者倫理		2
メディア基礎	2	
情報理論	2	
コミュニケーションデザイン演習	2	
知能メディア体験演習	2	
知能メディアプロジェクト1	2	
知能メディアプロジェクト2	2	
メディア工学実験	2	
音響工学基礎		2
画像処理基礎		2
音声工学		2
音響工学応用		2
画像処理応用		2
バーチャルリアリティ		2
人工知能基礎	2	
知識工学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
機械学習		2
ネットワーク・データ工学実験	2	
マルチエージェントシステム		2
データマイニング		2
データベース工学		2
知識工学応用		2
情報デザイン基礎		2
情報デザイン論及び演習	3	
テクノロジーアート		2
デザインプロジェクト設計		2
情報デザイン応用論及び演習		3
フィジカルインタフェース		2
ユーザエクスペリエンスデザイン		2
知能メディアチャレンジ		1
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
ゼミナール3	2	
卒業研究	5	

別表第4(第25条関係)

情報変革科学部 教養科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
英語理解基礎1		<u>1</u>
英語表現基礎1		<u>1</u>
英語理解基礎2		1
英語表現基礎2		1
英語理解基礎3		1
英語表現基礎3		1
英語理解基礎4		1
英語表現基礎4		1
英語理解1		<u>1</u>
英語表現1		<u>1</u>
英語理解2		1
英語表現2		1
英語理解3		1
英語表現3		1
英語理解4		1
英語表現4		1
英語理解発展1		<u>1</u>
英語表現発展1		<u>1</u>
英語理解発展2		1
英語表現発展2		1
英語理解発展3		1
英語表現発展3		1
英語理解発展4		1
英語表現発展4		1
資格試験英語A		1
資格試験英語B		1
日本語表現法	1	
数理・データサイエンス・AI入門	<u>1</u>	
AI・プログラミング基礎演習		<u>1</u>
スポーツ科学	2	
初年次教育	<u>1</u>	
キャリアデザイン1	1	
キャリアデザイン2	1	
キャリアデザイン3	1	
異文化理解	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
言語と文化1	2	
言語と文化2	2	
グローバル時代の法		2
国際社会論		2
哲学		2
倫理学		2
文学と芸術		2
歴史と人間		2
心理学		2
身体と健康の科学		2
憲法と社会		2
政治と社会		2
経済学		2
現代社会論		2
科学技術史		2
環境科学概論		2
生命科学		2
地球科学		2
物理の世界と先端技術		2
物質科学		2
課題探究セミナー		2
総合学際科目		2
イングリッシュアクティブラーニング1		1
イングリッシュアクティブラーニング2		1
イングリッシュアクティブラーニング3		1
日本語アクティブラーニング		1
スポーツアクティブラーニング		2
ソーシャルアクティブラーニング		1
国際インターン		1
国内インターン		1
ボランティア		1
キャリアアップラーニング		1
総合科学特論		2

情報工学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎		2
微分積分		2
確率統計		2
線形代数基礎		2
線形代数応用		2
微分方程式		2
離散数学		2
線形代数特論		2
応用解析		2
統計解析		2
初等整数論		2
情報工学概論	2	
電気回路	2	
プログラミング言語	2	
論理回路	2	
フィジカルコンピューティング	2	
技術文章作成	2	
アイデアソン	2	
Webプログラミング	2	
データサイエンス	2	
データ通信	2	
メディア処理		2
グラフィックス		2
システム理論		2
ソフトウェア工学		2
ビジュアル情報処理		2
クラウドコンピューティング		2
デジタル信号処理		2
クリティカルエンジニアリング	2	
アジャイルワーク1	2	
アジャイルワーク2	2	
ハッカソン1	2	
ハッカソン2	2	
数理モデリング		2
感性情報処理		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
数値解析		2
アルゴリズムとデータ構造		2
オペレーティングシステム		2
デジタル通信		2
情報理論		2
データベース		2
技術者倫理	2	
機械学習		2
人工知能		2
情報セキュリティ		2
高性能計算		2
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
ゼミナール3	2	
卒業研究	5	
幾何学1(自由科目)※		2
幾何学2(自由科目)※		2
解析学1(自由科目)※		2
解析学2(自由科目)※		2
数学科教育法1(自由科目)※		2
数学科教育法2(自由科目)※		2
数学科教育法3(自由科目)※		2
数学科教育法4(自由科目)※		2
情報科教育法1(自由科目)※		2
情報科教育法2(自由科目)※		2
情報と職業(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

認知情報科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数基礎		2
微分積分		2
線形代数応用		2
確率統計		2
微分方程式		2
応用解析		2
離散数学		2
統計解析		2
線形代数特論		2
初等整数論		2
認知情報科学入門	2	
プログラミング演習	2	
認知科学概論	2	
情報科学概論	2	
認知情報科学演習	2	
認知科学基礎1	2	
認知科学基礎2		2
人工知能基礎1	2	
人工知能基礎2		2
マルチメディア基礎1	2	
マルチメディア基礎2		2
ソフトウェア基礎1	2	
ソフトウェア基礎2		2
ネットワーク基礎1	2	
ネットワーク基礎2		2
認知情報科学実験1	2	
認知情報科学実験2	2	
認知科学応用		2
学びの科学・工学		2
コミュニケーション		2
ヒューマンコンピュータインタラクション		2
マシンラーニング		2
コンピュータビジョン		2
ソフトウェア工学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
ネットワーク応用		2
アルゴリズムとデータ構造		2
インターネットの心理学		2
デザインと表現		2
フィールド調査		2
自然言語処理		2
グラフィックス		2
プロジェクトマネジメント		2
データマイニング		2
センシングとIoT		2
経営システム工学		2
技術者倫理	2	
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
ゼミナール3	2	
ゼミナール4	2	
卒業研究	5	
幾何学1(自由科目)※		2
幾何学2(自由科目)※		2
解析学1(自由科目)※		2
解析学2(自由科目)※		2
数学科教育法1(自由科目)※		2
数学科教育法2(自由科目)※		2
数学科教育法3(自由科目)※		2
数学科教育法4(自由科目)※		2
情報科教育法1(自由科目)※		2
情報科教育法2(自由科目)※		2
情報と職業(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

高度応用情報科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
数学基礎	2	
線形代数基礎	2	
微分積分		2
線形代数応用	2	
確率統計	2	
微分方程式		2
離散数学		2
情報数学1		2
情報数学2		2
応用解析		2
統計解析	2	
線形代数特論		2
初等整数論		2
数理モデリング		2
社会数理モデリング		2
情報リテラシ	2	
ICT基礎	2	
データ構造とアルゴリズム	2	
情報メディア基礎	2	
TCP/IP概論	2	
OSとシステムソフトウェア		2
情報ネットワーク	2	
データサイエンス入門		2
データサイエンス演習		2
高度応用情報科学概論1	2	
高度応用情報科学概論2	2	
情報リテラシ演習1	2	
情報リテラシ演習2	2	
NWプログラミング基礎演習		2
NWプログラミング応用演習		2
データベース		2
LAN		2
機械学習基礎		2
行動科学分析		2
金融工学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
クラウドコンピューティング		2
クラウド構築演習		2
ソフトコンピューティング		2
マルチメディア情報処理		2
情報倫理		2
ソフトウェア工学		2
機械学習応用		2
人間工学		2
IoTシステム		2
IoTシステム構築実験		2
サイバーセキュリティ		2
サイバーセキュリティ実験		2
Webプログラミング基礎実験		2
Webプログラミング応用実験		2
高度応用情報科学ゼミナール1	2	
高度応用情報科学ゼミナール2	2	
高度応用情報科学ゼミナール3	2	
卒業研究	5	
幾何学1(自由科目)※		2
幾何学2(自由科目)※		2
解析学1(自由科目)※		2
解析学2(自由科目)※		2
数学科教育法1(自由科目)※		2
数学科教育法2(自由科目)※		2
数学科教育法3(自由科目)※		2
数学科教育法4(自由科目)※		2
情報科教育法1(自由科目)※		2
情報科教育法2(自由科目)※		2
情報と職業(自由科目)※		2

※別表第6にて再掲

別表第5(第25条関係)

未来変革科学部 教養科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
英語理解基礎1		1
英語表現基礎1		1
英語理解基礎2		1
英語表現基礎2		1
英語理解基礎3		1
英語表現基礎3		1
英語理解基礎4		1
英語表現基礎4		1
英語理解1		1
英語表現1		1
英語理解2		1
英語表現2		1
英語理解3		1
英語表現3		1
英語理解4		1
英語表現4		1
英語理解発展1		1
英語表現発展1		1
英語理解発展2		1
英語表現発展2		1
英語理解発展3		1
英語表現発展3		1
英語理解発展4		1
英語表現発展4		1
資格試験英語A		1
資格試験英語B		1
日本語表現法	1	
数理・データサイエンス・AI入門	1	
AI・プログラミング基礎演習		1
スポーツ科学	2	
初年次教育	1	
キャリアデザイン1	1	
キャリアデザイン2	1	
キャリアデザイン3	1	
異文化理解	2	

授業科目	単位数	
	必修	選択
言語と文化1	2	
言語と文化2	2	
グローバル時代の法		2
国際社会論		2
哲学		2
倫理学		2
文学と芸術		2
歴史と人間		2
心理学		2
身体と健康の科学		2
憲法と社会		2
政治と社会		2
経済学		2
現代社会論		2
科学技術史		2
環境科学概論		2
生命科学		2
地球科学		2
物理の世界と先端技術		2
物質科学		2
課題探究セミナー		2
総合学際科目		2
イングリッシュアクティブラーニング1		1
イングリッシュアクティブラーニング2		1
イングリッシュアクティブラーニング3		1
日本語アクティブラーニング		1
スポーツアクティブラーニング		2
ソーシャルアクティブラーニング		1
国際インターン		1
国内インターン		1
ボランティア		1
キャリアアップラーニング		1
総合科学特論		2

デジタル変革科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
未来変革科学入門	2	
デジタル変革概論	2	
データサイエンスの線形代数		2
コンピュータサイエンス入門		2
科学技術者倫理	2	
情報数学		2
確率論		2
データサイエンスⅠ	2	
データサイエンスⅡ	2	
データサイエンスⅢ	2	
データサイエンスⅣ	2	
マネジメント工学概論	2	
企業経営概論		2
コミュニケーションマネジメント	2	
ビジネスエコシステム		2
知識社会のマネジメント		2
システム構築マネジメント		2
デジタル・リスク論		2
ビジネスインテリジェンス		2
デジタルデザイン論		2
コストアカウンティング		2
サステナブルデベロップメント概論		2
データサイエンスおよび演習		2
シナジー創出技法		2
システム運用マネジメント		2
デジタルトランスフォーメーション論		2
情報ネットワーク		2
デジタル人材論		2
カスタマーサクセスマネジメント		2
デジタルマーケティング		2
フィールドアクティビティ1	1	
フィールドアクティビティ2	1	
ユーザエクスペリエンスデザイン		2
デジタル技術とデータ活用		2
人工知能論		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
モデリングとシミュレーション		2
グローバル・デジタル論		2
フィールド情報学		2
デジタル変革実験	2	
デジタル変革演習	2	
サービスマネジメント		2
社会デザイン概論		2
クラウドエコシステム		2
システム科学		2
デジタル・サービスサイエンス		2
データ品質マネジメント		2
コーポレートファイナンス		2
生産システムマネジメント		2
経営戦略		2
社会変革のためのシステム思考		2
情報技術社会論		2
ゼミナール1	2	
ゼミナール2	2	
課題研究	2	
卒業研究	5	

経営デザイン科学科 専門科目表

授業科目	単位数	
	必修	選択
未来変革科学入門	2	
経営デザイン概論	2	
<u>データサイエンスの線形代数</u>		<u>2</u>
<u>コンピュータサイエンス入門</u>		<u>2</u>
ベンチャービジネス論		2
グリーン社会と法律	2	
<u>情報処理基礎</u>		<u>2</u>
科学技術者倫理		2
社会システム工学		2
企業活動と法律		2
<u>IoT技術活用論</u>		<u>2</u>
<u>意思決定の数理</u>		<u>2</u>
<u>情報ネットワーク</u>		<u>2</u>
<u>データサイエンスⅠ</u>	<u>2</u>	
<u>データサイエンスⅡ</u>	<u>2</u>	
<u>データサイエンスⅢ</u>	<u>2</u>	
<u>データサイエンスⅣ</u>	<u>2</u>	
<u>知識社会のマネジメント</u>		<u>2</u>
事業経営概論		2
経営管理論		2
会計システム		2
サステナブルデベロップメント概論		2
コストアカウンティング	2	
システム方法論		2
イノベーションマネジメント	2	
<u>データサイエンスとデータベース</u>		<u>2</u>
経営デザイン基礎	1	
専門特別講義		2
<u>情報とセキュリティ</u>		<u>2</u>
経営デザイン応用	2	
人間工学概論		2
<u>プロジェクトマネジメント</u>		<u>2</u>
生産管理	2	
研究開発の戦略と統制	2	
生産システム工学		2

授業科目	単位数	
	必修	選択
品質管理		2
マーケティングマネジメント		2
<u>情報数学</u>		<u>2</u>
<u>データサイエンスの統計解析</u>		<u>2</u>
ロジスティクス		2
経営システム工学		2
資源・エネルギー管理論		2
技術開発マネジメント		2
<u>経営情報システム</u>		<u>2</u>
<u>デジタルコンテンツクリエイション</u>		<u>2</u>
環境マネジメントおよび演習		2
<u>フィールド情報学</u>		<u>2</u>
<u>ソフトウェア開発の定量化技法</u>		<u>2</u>
経営デザイン演習Ⅰ	1	
経営デザイン演習Ⅱ	2	
経営デザイン演習Ⅲ	2	
ゼミナール	2	
卒業研究	5	
<u>情報科教育法1（自由科目）※</u>		<u>2</u>
<u>情報科教育法2（自由科目）※</u>		<u>2</u>
<u>情報と職業（自由科目）※</u>		<u>2</u>

※別表第6にて再掲

別表第6(第25条関係)

教科及び教職に関する科目(学士の学位を授与するための授業科目を除く。)

1. 教育の基礎的理解に関する科目

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
教育原理		2	※
教職概論		2	※
教育行政学		2	※
学校経営・連携の理論と実践		2	
教育心理学		2	※
特別支援教育論		1	※
教育課程論		2	※

(注)※印の科目は、全教職課程履修者必修。

2. 道徳, 総合的な学習(探究)の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
道徳教育の理論と実践		2	中一種免は必修、高一種免は「大学が独自に設定する科目」として履修可(選択)
総合的な学習(探究)の時間の理論と実践		2	※
特別活動論		2	※
教育の方法・技術とICT		2	※
生徒指導・進路指導論		2	※
教育相談		2	※

(注)※印の科目は、全教職課程履修者必修。

3. 教育実践に関する科目

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
教育実習事前事後指導		1	高一種免(工業)以外は必修
教育実習A		4	高一種免(工業)以外は必修
教育実習B		2	高一種免(工業)以外は必修
教職実践演習(中・高)		2	※

(注)※印の科目は、全教職課程履修者必修。

4. 教科及び教科の指導法に関する科目

工学部 機械工学科, 機械電子創成工学科, 先端材料工学科, 電気電子工学科
創造工学部 都市環境工学科

(工業)

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
工業科教育法1		2	高一種(工業)必修
工業科教育法2		2	高一種(工業)必修
工学概論		2	高一種(工業)必修 ※
職業指導1		2	高一種(工業)必修

(注)※ 他学科履修は不可

工学部 応用化学科

(理科)

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
理科教育法1		2	中・高一種免(理科)必修
理科教育法2		2	中・高一種免(理科)必修
理科教育法3		2	中一種免(理科)必修
理科教育法4		2	中一種免(理科)必修
電磁気学		2	
宇宙科学		2	
生物学実験		2	中・高一種免(理科)必修
地学実験		2	中・高一種免(理科)必修

情報変革科学部 情報工学科, 認知情報科学科, 高度応用情報科学科

(数学)

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
数学科教育法1		2	中・高一種免(数学)必修
数学科教育法2		2	中・高一種免(数学)必修
数学科教育法3		2	中一種免(数学)必修
数学科教育法4		2	中一種免(数学)必修
幾何学1		2	中・高一種免(数学)必修
幾何学2		2	中・高一種免(数学)必修
解析学1		2	中・高一種免(数学)必修
解析学2		2	中・高一種免(数学)必修

情報変革科学部 情報工学科, 認知情報科学科, 高度応用情報科学科
 未来変革科学部 経営デザイン科学科
 (情報)

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
情報科教育法1		2	高一種(情報)必修
情報科教育法2		2	高一種(情報)必修
情報と職業		2	高一種(情報)必修

5. 大学が独自に設定する科目

工学部 応用化学科

情報変革科学部 情報工学科, 認知情報科学科, 高度応用情報科学科

授業科目	単位数		備 考
	必修	選択	
介護体験入門		1	中一種免必修
道徳教育の理論と実践		2	高一種免のみ履修可

別表第7(第49条関係)

授業科目		単位数	
		必修	選択
日本語	日本語基礎1		1
	日本語基礎2		1
	日本語初級1		3
	日本語初級2		3
	日本語中級1		2
	日本語中級2		2
	日本語表現		1
	理工系日本語		1
日本事情	日本事情1		2
	日本事情2		2
	日本事情3		2
	日本事情4		2
	日本事情5		2
	日本事情6		2
	日本事情7		2
	日本事情8		2
	日本事情ゼミナール		2

別表第8(第50条関係)

1 令和6年度入学検定料 単位:円

試験種別	1試験種の検定料
学校推薦型選抜・総合型選抜・特別選抜	30,000

単位:円

試験種別	1つのタイプで出願した場合の検定料	2つのタイプで出願した場合の検定料
共通テスト利用入学試験(前期)	15,000	20,000
共通テスト利用入学試験(中期)	15,000	20,000
共通テスト利用入学試験(後期)	15,000	

※この試験には2種類のタイプがあります。

単位:円

試験種別	1日分の検定料	2日目以降の追加検定料(1日あたり)
A日程入学試験	30,000	5,000
SA日程入学試験	30,000	5,000
B日程入学試験	30,000	5,000
C日程入学試験	30,000	

2 令和6年度入学生納付金(全学部共通)

単位:円

区 分	金 額
入 学 金	250,000
授 業 料	1,390,000
合 計	1,640,000

備考

(1) 入学金は、入学時のみ適用する。ただし、再入学者の入学金は免除する。

(2) 次年度以降の授業料は、毎年5万円増とする。

なお、社会情勢により金額は変動することがある。

(3) 休学期間中の学生納付金は、休学在籍料100,000円(半期)、200,000円(年額)とする。

千葉工業大学教職課程履修規程（案）

（目的）

第 1 条 この規程は、千葉工業大学学則第 34 条（教育職員免許状）第 2 項及び千葉工業大学大学院学則第 35 条（教育職員免許状）第 1 項の規定に基づき、千葉工業大学教職課程の履修に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（免許状の種類及び免許教科）

第 2 条 本学教職課程の履修によって取得できる免許状は、次のとおりである。

〔一種免許状〕

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
工 学 部	機 械 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工 業
	機 械 電 子 創 成 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工 業
	先 端 材 料 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工 業
	電 気 電 子 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工 業
	応 用 化 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
		高等学校教諭一種免許状	理 科
創 造 工 学 部	都 市 環 境 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	工 業
情報変革科学部	情 報 工 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	情 報
	認 知 情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	情 報
	高 度 応 用 情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	数 学
		高等学校教諭一種免許状	情 報
未来変革科学部	経 営 デ ザ イ ン 科 学 科	高等学校教諭一種免許状	情 報

〔専修免許状〕

研 究 科	専 攻	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状	工 業
	機 械 電 子 創 成 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状	工 業

	先端材料工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
	電気電子工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業
	応用化学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
情報科学研究科	情報科学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	数学
社会システム科学研究科	マネジメント工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業

(免許状取得の要件)

第3条 前条の免許状を取得しようとする者は、次に掲げる要件を充足していなければならない。

[一種免許状]

所要資格	修得を必要とする科目及び単位数
基礎資格	学士の学位を有すること
大学において修得することを必要とする最低必要単位数	教科及び教職に関する科目 59 単位
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法 2 単位 体育 2 単位 外国語コミュニケーション 2 単位 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2 単位

[専修免許状]

所要資格	修得を必要とする科目及び単位数
基礎資格	修士の学位を有すること
大学において修得することを必要とする最低必要単位数	教科及び教職に関する科目 83 単位

教育職員免許法 施行規則第66条 の6に定める科目	日本国憲法 2単位 体育 2単位 外国語コミュニケーション 2単位 数理、データ活用及び人工知能に 関する科目又は情報機器の操作 2単位
---------------------------------	--

(授業科目の履修)

第4条 教職課程授業科目については、別表に定める授業科目、単位数に従い履修しなければならない。

(履修手続)

第5条 教職課程を履修しようとする者は、教職課程受講申請書を所定の期日までに提出するとともに、次の教職課程受講手続料を納付しなければならない。

教職課程受講手続料 10,000 円

2 既納の教職課程受講手続料は、原則として返付しない。

(教育実習の実施要件)

第6条 「教育実習」(「事前事後指導」を含む。)の手続き及び実施のための条件は別に定める。

(介護等体験の実施要件)

第7条 「介護等体験」の手続き及び実施のための条件は別に定める。

(事務)

第8条 教職課程の履修に関する事務は、教学センターが行う。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決を経るものとする。

附則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

別表 教職課程授業科目

1. 工学部 機械工学科

高等学校教諭一種免許状（工業）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業関係の科目	それぞれの科目区分から1単位以上,計20単位以上修得すること	工業力学	2	2	
				工業数学	2		
				基礎材料力学	2		
				基礎機械設計	2		
				基礎機械製図	2		
				基礎機械力学	2		
				生産加工学	2		
				材料力学	2		
				機械力学			2
				熱力学	2		
				応用熱力学			2
				流れ学	2		
				応用流れ学			2
				機械設計	2		
				機械製図	2		
				CAD演習	2		
				応用機械設計製図	2		
				工作機械			2
				機械工学実験 1	2		
				機械工学実験 2	2		
				工学概論	2		
	職業指導			職業指導 1	2		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法 1	2		
				工業科教育法 2	2		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1		1
		英語表現基礎 1		1
		英語理解 1		1
		英語表現 1		1
		英語理解発展 1		1
		英語表現発展 1		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門 初年次教育 AI・プログラミング基礎演習	1 1	1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

2. 工学部 機械電子創成工学科

高等学校教諭一種免許状（工業）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目		
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業関係の科目	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	デジタルものづくり		2
				機構学		2
				力学	2	
				電気磁気学	2	
				材料力学	2	
				電気回路	2	
				機械電子創成基礎実験・実習	2	
				機械設計製図学	2	
				機械加工法		2
				材料とその性質	2	
				アナログ回路	2	
				デジタル回路	2	
				プログラミング言語	2	
				機械電子創成基盤実験・実習	2	
				組込みシステム		2
				システム制御理論	2	
				電気機器学		2
				ネットワークプログラミング		2
				システム制御工学	2	
				計測工学	2	
	工学概論	2				
職業指導			職業指導 1	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法 1	2		
			工業科教育法 2	2		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1		1
		英語表現基礎 1		1
		英語理解 1		1
		英語表現 1		1
		英語理解発展 1		1
		英語表現発展 1		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門 初年次教育 AI・プログラミング基礎演習	1 1	1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

3. 工学部 先端材料工学科

高等学校教諭一種免許状（工業）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目		
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業関係の科目	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	基礎材料工学	2	
				材料物理学	2	
				エネルギー工学概論	2	
				材料組織学	2	
				固体物理学	2	
				材料熱化学	2	
				材料電気化学	2	
				材料力学及び演習	2	
				構造材料 1	2	
				技術者倫理	2	
				塑性加工学		2
				表面工学		2
				材料化学プロセス工学 1		2
				融体成形工学		2
				粉体材料工学		2
				材料強度学 1		2
				構造材料 2		2
				半導体材料		2
				磁性材料		2
				リサイクル工学		2
	工学概論	2				
	職業指導			職業指導 1	2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法 1	2	
				工業科教育法 2	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1 英語表現基礎 1 英語理解 1 英語表現 1 英語理解発展 1 英語表現発展 1		1 1 1 1 1 1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門 初年次教育 AI・プログラミング基礎演習	1 1	1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

4. 工学部 電気電子工学科

高等学校教諭一種免許状（工業）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目		
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業関係の科目	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	電気磁気学及び演習 1	2	
				電気磁気学及び演習 2	2	
				電気回路及び演習 1	2	
				電気回路及び演習 2	2	
				電子デバイス及び演習 1	2	
				電子回路及び演習 1	2	
				電子物性	2	
				電気電子工学実験 1	2	
				電気電子工学実験 2	2	
				電気電子工学実験 3	2	
				計測工学		2
				電気回路解析学		2
				電子デバイス 2		2
				電気音響工学		2
				プラズマエレクトロニクス		2
				電磁エネルギー変換工学		2
				パワーエレクトロニクス		2
				発電工学		2
				高電圧工学		2
				電気電子材料		2
				工学概論	2	
	職業指導			職業指導 1	2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法 1	2	
				工業科教育法 2	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1 英語表現基礎 1 英語理解 1 英語表現 1 英語理解発展 1 英語表現発展 1		1 1 1 1 1 1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門 初年次教育 AI・プログラミング基礎演習	1 1	1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

5. 工学部 応用化学科

(1) 中学校教諭一種免許状(理科)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	物理学基礎	2	2
			物理学応用	2	
			統計力学基礎		
			電磁気学	2	
			物理学実験	2	
			化学基礎	2	2
			有機化学1	2	
			化学応用	2	
			有機化学2		
			物理化学1	2	2
			有機化学3		
			無機化学1	2	
			物理化学2		
			分析化学	2	2
			物理化学3		
			量子化学1		
			高分子化学		
			量子化学2		2
			無機合成化学		2
			界面化学		2
			電気化学	2	2
			触媒化学		
			錯体化学		
			化学実験	2	
			生物学基礎	2	2
			生化学		
			生命科学	2	

	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		生物学実験	1	
	地 学		地球科学	2	2
			地球環境科学	2	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）		宇宙科学		2
			地学実験	1	
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	8	理科教育法 1	2		
		理科教育法 2	2		
		理科教育法 3	2		
		理科教育法 4	2		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8	道徳教育の理論と実践	2	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法		総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導 教育実習 A	1 4	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4	介護体験入門		1	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1		1
		英語表現基礎 1		1
		英語理解 1		1
		英語表現 1		1
		英語理解発展 1		1
		英語表現発展 1		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門	1	
		初年次教育	1	
		AI・プログラミング基礎演習		1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状(理科)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上修得すること	物理学基礎	2	2
			物理学応用	2	
			統計力学基礎		
			電磁気学	2	
			化学基礎	2	2
			有機化学1	2	
			化学応用	2	
			有機化学2		
			物理化学1	2	
			有機化学3		
			無機化学1	2	
			物理化学2		
			分析化学	2	
			物理化学3		
			量子化学1		
			高分子化学		
			量子化学2		
			無機合成化学		
			界面化学		
			電気化学	2	
			触媒化学		
			錯体化学		
			生物学基礎	2	2
			生化学		
			生命科学	2	
			地球科学	2	2
			地球環境科学	2	
			宇宙科学		
			物理学実験	2	
			化学実験	2	
			生物学実験	1	
			地学実験	1	

	む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」				
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	4	理科教育法 1 理科教育法 2 理科教育法 3 理科教育法 4	2 2	2 2

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1		1
		英語表現基礎 1		1
		英語理解 1		1
		英語表現 1		1
		英語理解発展 1		1
		英語表現発展 1		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門 初年次教育 AI・プログラミング基礎演習	1 1	1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

6. 創造工学部 都市環境工学科

高等学校教諭一種免許状（工業）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	工業関係の科目	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	構造力学 1	2		
				構造力学 2	2		
				土質力学	2		
				応用力学	2		
				水理学 1	2		
				水理学 2	2		
				環境アセスメント	2		
				地球環境学	2		
				都市計画	2		
				防災工学	2		
				測量実習	2		
				測量学	2		
				技術者倫理	2		
				橋梁工学		2	
				地盤工学		2	
				衛生工学		2	
				交通計画		2	
				交通工学		2	
				景観工学		2	
				建設施工		2	
				都市環境工学実験	2		
				工学概論	2		
	職業指導			職業指導 1	2		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	工業科教育法 1	2		
				工業科教育法 2	2		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学 学校経営・連携の理論と実践	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	総合的な学習（探究）の時間の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		特別活動論	2	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法・技術と I C T	2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習事前事後指導 教育実習 B	1 2	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の理論と実践		2	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	憲法と社会	2	
体育	2	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	2	英語理解基礎 1		1
		英語表現基礎 1		1
		英語理解 1		1
		英語表現 1		1
		英語理解発展 1		1
		英語表現発展 1		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	数理・データサイエンス・AI入門	1	
		初年次教育	1	
		AI・プログラミング基礎演習		1

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

7. 情報変革科学部 情報工学科

(1) 中学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	線形代数特論	2	2	
				初等整数論	2		
				線形代数基礎			2
				線形代数応用			2
				離散数学			2
		幾何学		幾何学 1	2	2	
				幾何学 2	2		
				グラフィックス			2
		解析学		解析学 1	2	2	
				解析学 2	2		
				数学基礎			2
				微分積分			2
				微分方程式			2
				応用解析			2
				数値解析			2
	システム理論			2	2		
	数理モデリング						
	「確率論・統計学」	確率統計		2	2		
		統計解析					
	コンピュータ	アジャイルワーク 1		2	2		
		アジャイルワーク 2		2			
		情報理論				2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		8	数学科教育法 1	2	2		
		数学科教育法 2	2				
		数学科教育法 3	2				
		数学科教育法 4	2				

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8	<u>道徳教育の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法		<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	5	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習A</u>	<u>1</u> <u>4</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4	<u>介護体験入門</u>		<u>1</u>	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎 1</u> <u>英語表現基礎 1</u> <u>英語理解 1</u> <u>英語表現 1</u> <u>英語理解発展 1</u> <u>英語表現発展 1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	それぞれの科目区分から1単位以上,計20単位以上修得すること	<u>線形代数特論</u>	<u>2</u>	
			<u>初等整数論</u>	<u>2</u>	
			<u>線形代数基礎</u>		<u>2</u>
			<u>線形代数応用</u>		<u>2</u>
			<u>離散数学</u>		<u>2</u>
			<u>幾何学1</u>	<u>2</u>	
			<u>幾何学2</u>	<u>2</u>	
			<u>グラフィックス</u>		<u>2</u>
			<u>解析学1</u>	<u>2</u>	
			<u>解析学2</u>	<u>2</u>	
			<u>数学基礎</u>		<u>2</u>
			<u>微分積分</u>		<u>2</u>
			<u>微分方程式</u>		<u>2</u>
			<u>応用解析</u>		<u>2</u>
			<u>数値解析</u>		<u>2</u>
			<u>システム理論</u>	<u>2</u>	
			<u>数理モデリング</u>		<u>2</u>
			<u>確率統計</u>	<u>2</u>	
			<u>統計解析</u>		<u>2</u>
			<u>アジャイルワーク1</u>	<u>2</u>	
			<u>アジャイルワーク2</u>	<u>2</u>	
			<u>情報理論</u>		<u>2</u>
			<u>数学科教育法1</u>	<u>2</u>	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	4	<u>数学科教育法2</u>	<u>2</u>	
			<u>数学科教育法3</u>		<u>2</u>
			<u>数学科教育法4</u>		<u>2</u>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(3) 高等学校教諭一種免許状(情報)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	情報工学概論	2	
				技術者倫理	2	
				クリティカルエンジニアリング	2	
		コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)		ソフトウェア工学	2	2
				アルゴリズムとデータ構造	2	
				高性能計算		
				論理回路		
				オペレーティングシステム		
				ハッカソン1	2	
				ハッカソン2	2	
				プログラミング言語	2	
				We bプログラミング	2	
	データサイエンス	2				
感性情報処理		2				
情報システム (実習を含む。)	データベース	2	2			
	人工知能					
	機械学習					
	フィジカルコンピューティング	2				
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	データ通信	2	2			
	デジタル信号処理					
	デジタル通信					
	クラウドコンピューティング					
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習含む。)	メディア処理	2	2			
	ビジュアル情報処理					
情報と職業			2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4	情報科教育法 1	2		
			情報科教育法 2	2		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

8. 情報変革科学部 認知情報科学科

(1) 中学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	線形代数特論	2	2	
				初等整数論	2		
				線形代数基礎			2
				線形代数応用			2
				離散数学			2
		幾何学		幾何学 1	2	2	
				幾何学 2	2		
				グラフィックス			2
		解析学		解析学 1	2	2	
				解析学 2	2		
				数学基礎	2		
				微分積分			2
				微分方程式			2
		「確率論・統計学」		確率統計	2	2	
				統計解析			2
	認知科学基礎 2				2		
	コンピュータ	プログラミング演習		2	2		
		認知情報科学演習		2			
		マルチメディア基礎 2				2	
		マシンラーニング				2	
		データマイニング				2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)			8	数学科教育法 1	2	
			数学科教育法 2	2			
			数学科教育法 3	2			
			数学科教育法 4	2			

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8	<u>道徳教育の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法		<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	5	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習A</u>	<u>1</u> <u>4</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4	<u>介護体験入門</u>		<u>1</u>	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	<u>線形代数特論</u>	<u>2</u>	
			<u>初等整数論</u>	<u>2</u>	
			<u>線形代数基礎</u>		<u>2</u>
			<u>線形代数応用</u>		<u>2</u>
			<u>離散数学</u>		<u>2</u>
			<u>幾何学1</u>	<u>2</u>	
			<u>幾何学2</u>	<u>2</u>	
			<u>グラフィックス</u>		<u>2</u>
			<u>解析学1</u>	<u>2</u>	
			<u>解析学2</u>	<u>2</u>	
			<u>数学基礎</u>	<u>2</u>	
			<u>微分積分</u>		<u>2</u>
			<u>微分方程式</u>		<u>2</u>
			<u>応用解析</u>		<u>2</u>
			<u>確率統計</u>	<u>2</u>	
			<u>統計解析</u>		<u>2</u>
			<u>認知科学基礎2</u>		<u>2</u>
			<u>プログラミング演習</u>	<u>2</u>	
			<u>認知情報科学演習</u>	<u>2</u>	
			<u>マルチメディア基礎2</u>		<u>2</u>
			<u>マシンラーニング</u>		<u>2</u>
			<u>データマイニング</u>		<u>2</u>
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	4	<u>数学科教育法1</u>	<u>2</u>	
			<u>数学科教育法2</u>	<u>2</u>	
			<u>数学科教育法3</u>		<u>2</u>
			<u>数学科教育法4</u>		<u>2</u>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(3) 高等学校教諭一種免許状(情報)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
					必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	<u>認知科学概論</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
		<u>情報科学概論</u>		<u>2</u>		
				<u>プロジェクトマネジメント</u>		
		コンピュータ・情報処理(実習を含む。)		<u>ソフトウェア基礎1</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
				<u>ソフトウェア基礎2</u>	<u>2</u>	
				<u>ヒューマンコンピュータインタラクション</u>		
				<u>ソフトウェア工学</u>		
				<u>データマイニング</u>		
				<u>センシングとIoT</u>		
				<u>自然言語処理</u>		
<u>プログラミング演習</u>	<u>2</u>					
情報システム(実習を含む。)	<u>認知情報科学演習</u>	<u>2</u>		<u>2</u>		
	<u>認知情報科学実験1</u>	<u>2</u>				
	<u>認知情報科学実験2</u>	<u>2</u>				
	<u>人工知能基礎1</u>	<u>2</u>				
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	<u>人工知能基礎2</u>			<u>2</u>		
	<u>ネットワーク基礎1</u>	<u>2</u>		<u>2</u>		
	<u>ネットワーク基礎2</u>	<u>2</u>				
<u>ネットワーク応用</u>						
マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習含む。)	<u>コンピュータビジョン</u>	<u>2</u>				
	<u>マルチメディア基礎1</u>	<u>2</u>				
情報と職業	<u>情報と職業</u>	<u>2</u>				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	<u>情報科教育法1</u>	<u>2</u>		
			<u>情報科教育法2</u>	<u>2</u>		

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

9. 情報変革科学部 高度応用情報科学科

(1) 中学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	それぞれの科目区分から1単位以上,計20単位以上修得すること	線形代数特論	2	2	
				初等整数論	2		
				線形代数基礎	2		
				線形代数応用	2		
				離散数学			2
				情報数学 1			2
				情報数学 2			2
		幾何学		幾何学 1	2		
				幾何学 2	2		
		解析学		解析学 1	2	2	
				解析学 2	2		
				数学基礎	2		
				微分積分			2
				微分方程式			2
				応用解析			2
				数理モデリング			2
		「確率論・統計学」		確率統計	2	2	
				統計解析	2		
				社会数理モデリング			2
				金融工学			2
	コンピュータ	NWプログラミング基礎演習		2	2		
		NWプログラミング応用演習		2			
		機械学習基礎				2	
		機械学習応用				2	
		データサイエンス入門				2	
		データサイエンス演習				2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		8	数学科教育法 1	2			
	数学科教育法 2		2				
	数学科教育法 3		2				
	数学科教育法 4		2				

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8	<u>道徳教育の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法		<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	5	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習A</u>	<u>1</u> <u>4</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4	<u>介護体験入門</u>		<u>1</u>	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎 1</u> <u>英語表現基礎 1</u> <u>英語理解 1</u> <u>英語表現 1</u> <u>英語理解発展 1</u> <u>英語表現発展 1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状(数学)に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				
科目区分		各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数		
					必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	それぞれの科目区分から1単位以上, 計20単位以上修得すること	線形代数特論	2	2	
				初等整数論	2		
				線形代数基礎	2		
				線形代数応用	2		
				離散数学			2
				情報数学 1			2
				情報数学 2			2
		幾何学		幾何学 1	2		
				幾何学 2	2		
		解析学		解析学 1	2	2	
解析学 2	2						
数学基礎	2						
微分積分				2			
微分方程式				2			
応用解析				2			
「確率論・統計学」	数理モデリング			2			
	確率統計	2		2			
	統計解析	2					
	社会数理モデリング				2		
金融工学		2					
コンピュータ	NWプログラミング基礎演習	2	2				
	NWプログラミング応用演習	2					
	機械学習基礎			2			
	機械学習応用			2			
	データサイエンス入門			2			
	データサイエンス演習			2			
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	数学科教育法 1		2	2		
数学科教育法 2		2					
数学科教育法 3			2				
数学科教育法 4			2				

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

10. 未来変革科学部 経営デザイン科学科

(1) 高等学校教諭一種免許状（情報）に関わる科目

① 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含める必要事項	修得単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上修得すること	知識社会のマネジメント	2	
			プロジェクトマネジメント		2
			データサイエンスⅠ	2	
			データサイエンスⅡ	2	
			データサイエンスⅢ	2	
			データサイエンスⅣ	2	
			データサイエンスの線形代数		2
			コンピュータサイエンス入門		2
			情報処理基礎	2	
			データサイエンスとデータベース		2
			フィールド情報学		2
			ソフトウェア開発の定量化技法		2
			情報数学		2
			データサイエンスの統計解析		2
	情報システム（実習を含む。）		経営情報システム	2	
			意思決定の数理		2
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）		情報ネットワーク	2	
			I o T技術活用論		2
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習含む。）		情報とセキュリティ		2
			デジタルコンテンツクリエイション	2	
	情報と職業		情報と職業	2	
			情報科教育法1	2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4	情報科教育法2	2	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科 目	各科目に含める必要事項	修 得 単位数	授 業 科 目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	<u>教育原理</u>	<u>2</u>	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		<u>教職概論</u>	<u>2</u>	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		<u>教育行政学</u> <u>学校経営・連携の理論と実践</u>	<u>2</u>	<u>2</u>
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		<u>教育心理学</u>	<u>2</u>	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		<u>特別支援教育論</u>	<u>1</u>	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		<u>教育課程論</u>	<u>2</u>	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	8	<u>総合的な学習（探究）の時間の理論と実践</u>	<u>2</u>	
	特別活動の指導法		<u>特別活動論</u>	<u>2</u>	
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		<u>教育の方法・技術とICT</u>	<u>2</u>	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		<u>生徒指導・進路指導論</u>	<u>2</u>	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		<u>教育相談</u>	<u>2</u>	
教育実践に関する科目	教育実習	3	<u>教育実習事前事後指導</u> <u>教育実習B</u>	<u>1</u> <u>2</u>	
	教職実践演習	2	<u>教職実践演習（中・高）</u>	<u>2</u>	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12	<u>道徳教育の理論と実践</u>		<u>2</u>	最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習（探究）の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

② 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	<u>憲法と社会</u>	<u>2</u>	
体育	2	<u>スポーツ科学</u>	<u>2</u>	
外国語コミュニケーション	2	<u>英語理解基礎1</u> <u>英語表現基礎1</u> <u>英語理解1</u> <u>英語表現1</u> <u>英語理解発展1</u> <u>英語表現発展1</u>		<u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u>
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	<u>数理・データサイエンス・AI入門</u> <u>初年次教育</u> <u>AI・プログラミング基礎演習</u>	<u>1</u> <u>1</u>	<u>1</u>

(注) 外国語コミュニケーションの科目区分は 6 科目中 2 科目選択必修。

1 1. 工学研究科 機械工学専攻

高等学校教諭専修免許状（工業）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24 単位以上 修得すること	材料強度学特論		2
		移動現象特論		2
		エネルギー工学特論		2
		流体工学特論		2
		複合材料工学特論		2
		加工学特論		2
		生産設計特論		2
		流体機械特論		2
		材料科学特論		2
		振動工学特論		2
		制御工学特論		2
		メカトロニクス特論		2
		形と機能特論		2

※選択科目の中から 24 単位選択必修

1 2. 工学研究科 機械電子創成工学専攻

高等学校教諭専修免許状（工業）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24単位以上 修得すること	組込みシステム設計特論	2	
		形と機能特論	2	
		レーザー応用技術特論	2	
		精密加工学特論	2	
		燃焼化学工学特論	2	
		構造解析学特論	2	
		半導体エネルギー変換工学特論	2	
		ナノ・マイクロ表面工学特論	2	
		システム制御特論	2	
		応用光学特論	2	
		トライボロジー特論	2	
		振動工学特論	2	

13. 工学研究科 先端材料工学専攻

高等学校教諭専修免許状（工業）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24単位以上 修得すること	凝固学特論	2	
		塑性加工学特論	2	
		材料組織学生特論	2	
		材料物理学特論	2	
		固体物理学特論	2	
		材料強度学特論	2	
		材料電気化学特論	2	
		材料化学プロセス工学特論	2	
		構造材料学特論	2	
		磁性材料学特論	2	
		エネルギー材料特論	2	
		表面工学特論	2	

1 4. 工学研究科 電気電子工学専攻

高等学校教諭専修免許状（工業）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24単位以上 修得すること	物理数学特論		2
		磁気工学特論		2
		放電プラズマ工学特論		2
		電子デバイス工学		2
		電磁界シミュレーション		2
		高電圧工学特論		2
		電力エネルギー回路設計特論		2
		制御工学特論		2
		先進光エレクトロニクス		2
		産業計測工学特論		2
		超音波・振動工学特論		2
		センサシステム特論		2
		半導体光物性工学特論		2
		光ファイバ工学特論		2

※選択科目の中から 24 単位選択必修

1 5. 工学研究科 応用化学専攻

中学校教諭専修免許状（理科）に関わる科目

高等学校教諭専修免許状（理科）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24 単位以上 修得すること	応用物理化学特論		2
		資源・環境化学工学特論		2
		化学熱力学特論		2
		物性化学特論		2
		有機反応化学特論		2
		有機材料化学特論		2
		高分子材料特論		2
		有機量子化学特論		2
		無機材料化学特論		2
		応用電気化学特論		2
		表面・界面化学特論		2
		無機構造化学特論		2
		固体化学特論		2
		機器分析特論 1		2
		機器分析特論 2		2

※選択科目の中から 24 単位選択必修

16. 情報科学研究科 情報科学専攻

中学校教諭専修免許状（数学）に関わる科目

高等学校教諭専修免許状（数学）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24 単位以上 修得すること	パターン認識特論		2
		コンピュータシミュレーション特論		2
		応用制御システム特論		2
		エージェントシステム特論		2
		インストラクショナルデザイン特論		2
		信号処理特論		2
		ソフトウェア工学特論		2
		情報システム特論		2
		計算機システム特論		2
		アルゴリズム特論		2
		認知情報特論		2
		情報科学演習 A		1
		情報科学演習 B		1
		修士特別研究	10	

※選択科目の中から 14 単位選択必修

17. 社会システム科学研究科 マネジメント工学専攻

高等学校教諭専修免許状（工業）に関わる科目

教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	修得単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
大学が独自に 設定する科目	24 単位以上 修得すること	技術経営特論		2
		生産システム工学特論		2
		環境システム工学特論		2
		産業人間工学特論		2
		経営システム工学特論		2
		情報システム特論		2
		製品開発プロジェクト特論		2
		ソフトウェア開発プロジェクト特論		2
		プロジェクトマネジメント特論		2
		国際プロジェクト特論		2
		情報通信技術（ICT）特論		2
		データ解析特論		2
		データサイエンス特論		2
		修士特別研究	10	

※選択科目の中から 14 単位選択必修